開館40年を振り返る写真展の開催

戸田　恭司*

釧路市立博物館が2023（令和５）年11月３日で開館40周年を迎えた。この機会に、当時の建設のようすからこれまでの博物館活動を振り返る写真展を当館で開催した。展示で使用する写真をセレクトするため、建設工事のほか、開館後の普及活動のようすなど、保管されている写真や画像データの確認作業を行った。私自身が初見のものもあり、あらためてこれまでを振り返る良い機会となった。展示に使用した写真を紹介しながら、この40年を振り返ってみたい。

現在の博物館は、それまであった鶴ケ岱公園内から移転・新築され、現在の名称に変更されている。当時、関係者の間では建設される博物館は「新館」と呼ばれ、それに対して鶴ヶ岱公園の博物館は後に「旧館」と呼ばれることとなる。

写真１

最初の一枚は、旧館・釧路市立郷土博物館の全景である（写真１）。幣舞橋の近くにあった旧釧路市警察署の建物を移転・改築しており、あらためて見るとなかなか趣のある建物である。新館の設計は釧路出身の建築家・毛綱毅曠氏。市内における、毛綱氏が手掛けた初めての公共施設である。その後、湿原展望台やフィッシャーマンズワーフＭＯＯといった観光施設などの設計も手掛けられている。

写真２

さて、建設工事は後に博物館と一体となる構想のもとで、釧路市埋蔵文化財調査センターの建設が先行して開始され、1977（昭和52）年10月に完成、オープンした。新館のメインとなる建物は1981（同56）年３月に杭打ち工事が開始。安全祈願祭には毛綱氏も出席されている（写真２、向かって右から４番目が毛綱氏）。大型の部材の移動に使われた

写真３

クレーンが稼働する姿（写真３）に、市民の期待も高まっていったにちがいない。また、展示室４階の湿原におけるタンチョウの生態を紹介しているジオラマはドーム型の天井となっているが、建物に組み込まれているためドームの形状を外から見ることはできない。ドームが見られる貴重な一枚がある（写真４）。

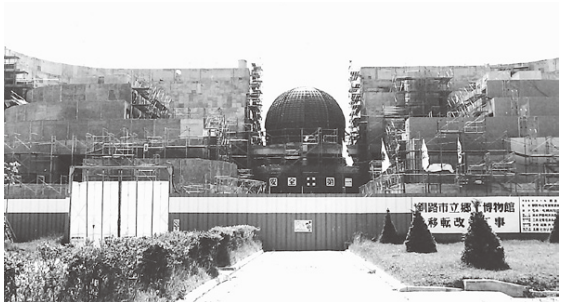

写真４

写真５

建物内でも展示の準備が進められた。１階では、展示物が未設置でがらんとした状態のものや、魚類標本の設置作業を行っている業者の姿、また４階の幣棚の展示では、背景となる写真の前でこれから資料を設置する算段をしているようすなどが撮影されている（写真５）。

工事が開始されて２年半を過ぎた1983（昭和58）年10月

＊釧路市立博物館

には建物・展示ともに完成した。開館日前日の11月２日には１階エントランスホール（マンモスホールと呼んで親しんでいる）で建物の使用にあたって払い清める修祓式を行い、前庭ではブロンズ像「朔北の母子像」の除幕式と記念式典のテープカット（写真６）が、講堂では祝賀会が開かれた。

写真６

翌３日には開館を待ちわびた市民らが5,200人あまりも訪れ、３月末までの５ヶ月間で５万人を超える来館者を数えた。翌年１月には冬季国体が釧路市で開催されて、開会式にご出席された皇太子殿下・皇太子妃殿下（現上皇陛下・上皇后陛下）が当館を訪れている（写真７）。以後、何度か皇室の方々をお迎えしている。

写真７

開館した釧路市立博物館では、調査研究活動や特別展・企画展、観察会等の多彩な普及事業を展開している。市民と協働する目的で、皆さんが所有するコレクション等を紹介する「私の博物館」は1998（平成10）年に開始した。
来館者の休憩スペースだったマンモスホールを展示可能に変えて、映画チケット（写真８）など常設展示にはないさまざまなモノを紹介してきた。入館無料のこのホールを活

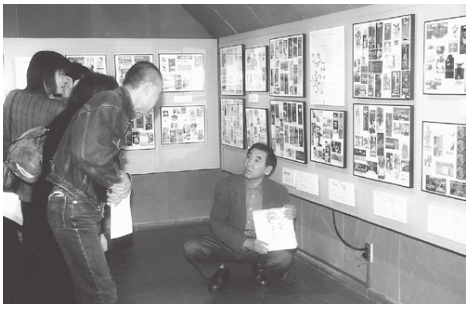

写真８

用して、さまざまなテーマの企画展も開催し、博物館へ気軽に立ち寄る方が確実に増えたと実感している。

「ミュージアムコンサート」は、展示に囲まれた環境で体験できる演奏会であり、「展示を見るだけではない」博物館の魅力を伝えている。また、博物館活動に参加・協力を行いながら釧路の自然や文化・歴史に親しむ市民の団体である釧路市立博物館友の会が主催する「博物館まつり」は、友の会会員・博物館職員と市民が交流する機会を現在まで提供し続けている。

開館40年を過ぎて、大規模な展示更新こそ行ってはいないが、優先度で判断しながらいくつかのコーナーで更新を進めている。１階では魚類・両生類・昆虫の更新、２階では開催した企画展の内容を凝縮して簡易軌道のコーナーを新設し、地域の発展に寄与した交通という新たな要素を加えた。

また、４階で展示していたアイヌの木綿衣は専門家による調査の結果、貴重な価値が確認されて保存を優先し収蔵庫に収納されることとなり、新たな知見として得た調査結果も交えた特別展示を行った（写真９）。アイヌ文化を紹

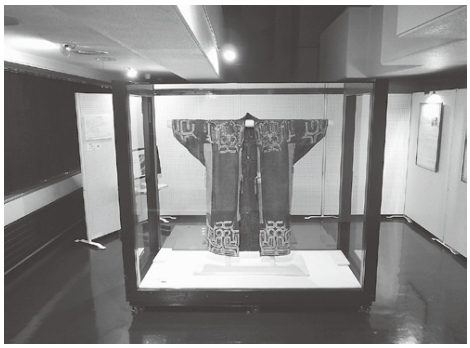

写真９

介する映像コーナーも釧路の情報を中心とした内容に更新している。

市内の小学校をはじめとした各学校との連携では、出前授業や野外観察等での講師派遣等の対応や、研究機関・他の博物館施設とは共同研究や巡回展開催といった相互協力を続けている。文化財を中心に地域の課題が増え続けており、ますます釧路市立博物館の存在意義が問われている。さまざまな分野の学芸員がいる当館の強みをさらに発揮して、今後も地域に必要とされる博物館を目ざしたい。

＊展示名　開館40周年記念展示　博物館を振り返る写真展
＊会　場　釧路市立博物館２階展示通路
＊期　間　2023（令和５）年11月３日～12月３日